

【2/3(土) 袖-1GP エントラント会議 議事録と決定事項】

2月3日(土)に開催されて袖-1GP エントラント会議の議事録と決定事項をまとめました。
黒字は「議事録」、青字は「決定事項」になります。

▼ 袖-1GP のコンセプト

袖森を走るモチベーションのアップ

筑波の様に袖-1GP エントラントに限らず一般的に『袖森を〇〇で△秒』という基準をより明確化
袖-1GP は練習の場ではなく日頃のスポーツ走行等での成果を発表する『公式記録会』の位置づけ
クルマの性能(オリジナルの性能)だけで順位が決まらない、チューニングによる性能アップ、ドライバーのスキルアップも個々の車種の基準タイムを元に争える新しいランキングシステムを啓蒙する。

▼ 競技長について

ペナルティの判断、コンディションハンデの判断(雨などセッション中のコンディション変化が大きい際は走行セッション終了後に再補正を行う事もありうる)、その他の事例が発生した際に袖-1GP の基本コンセプトに立って、エントラント、サーキット、主催運営のどこにも属さず中立な立場、プロのドライバーの目から判断をするものとし、その競技長の決定に関しては抗議等は一切受け付けない。

▼ 基準タイム

基準タイムの定義を明確に表記する。

→ドノーマルで澤が出したタイムに+1.5 秒

→チューニングしたり装備品を付けて Score が 5.0 になる

→チューニングの伸び幅も認めていることを明記

基準タイムはプロ Dr がドラサポ等、お客様のクルマを安全な範囲である程度アタックするスピード(プロのフルアタックから 1 秒落ち位の 8~9 割レベル)で気温 20 度、コースコンディション通常レベルの中で走行した時のタイムから Good ジェントルマンドライバーと言える“プロから 1.5~2.5 秒以内”のレベルで走っているタイムを想定し基準タイムとする。

例) 澤が 15 秒 3 で走行した場合(気温 20 度、コンディション通常)

16.8~17.8 秒が基準タイムとなる

基準タイムの調整はエントラント側からの要望で主催者はフレキシブルに対応し反映する必要がある。

▼ AT 車のハンデ

基準タイム 1'20.00 以上の AT 車はスコアに 0.8 を加算する。

▼ 基準タイムの見直し

別紙参照

▼ コンディションハンデ

気温：1°Cで 0.1 秒は多すぎる

今まで通りのハンデで実施する。

▼ ランカーハンデ

前年ランキング上位はハンデ

ドライバーに対して

ゴールドステッカーの人は一律に

前年スコアランキング上位 3 名に対して、スコアから 0.5 を減算する。

▼ 年齢ハンデを設けては？

今まで通り、年齢ハンデは設けずに実施する。

▼ タイヤの扱い

禁止タイヤを明確にリストアップする

あくまで主催者判断、その場で参考タイムとして扱うこともあると了承取る

タイヤ毎のハンデを設けるのは経験値が足りない

RE07D、A052、フージャー

袖-1GP は下記のタイヤを禁止タイヤとする。

・ KUMHO ECSTA V710

・ TOYO PROXES R888R

・ Hoosier RACING DOT RADIAL

・ YOKOHAMA ADVAN A050

以降、禁止タイヤとして扱う場合は競技長と運営側で協議を行い決定し、運営側は袖-1GP 公式サイト「レギュレーション」ページへの記載を直ちに行う必要がある。

▼ 走行枠

走行枠の中でアタックする時間を設ける？

→クリアを取ってアタックするスキルを積むのも大切

2本目の10分をアタック枠として設定する？

スペシャルステージ設ける（ゲーム性のアップ）

単独開催前に検討。

▼ タイムアタック時、ライト点灯しアタックする車の意思表示を徹底して欲しい。

強く推奨するが付け忘れや消し忘れが無いように注意。

消し忘れ等のエラーによるペナルティは課さない。

▼ ペナルティ対象

- ・イエロー区間の追い越しなどに対するペナルティ
- ・ホワイトラインカット
- ・ダブルチェッカーはNG
- ・赤旗の原因を作った人はそのセッションのタイム抹消

上記はあくまでも例。

今まで通りペナルティ対象は競技長の判断で行う。

▼ オフィシャル（ポスト員）を増やすべきか

増やしてほしい、スポーツ走行同様空いていてもいい、両論あり

今まで通り実施する。

▼ 参加料金改定案

通常 17,000 円

袖ヶ浦通常ライセンス 14,000 円

ワンスマライセンス所持 12,000 円

※袖森フェス併催時は 1,000 円アップ

※キャッシュバックは無し

2018 年は上記の参加料金に改定。